

福岡工業大学リカレント教育（履修証明プログラム）

2025年度受講生募集

数理データサイエンスプログラム

環境理工学及び環境社会学プログラム



福岡工業大学リカレント教育

現代社会においては、急速な技術革新や社会変化に対応するため、継続的な学びが求められています。学び直しの機会提供に加えて、社会全体における知識の更新と技術の進展に対応した人材育成が、高等教育機関の大きな使命の一つです。福岡工業大学は、地域に根差した高等教育機関として、本学が持つ教育リソースや専門的な知見を地域・社会に還元するため、社会人を対象としたリカレント教育（履修証明プログラム）を提供します。

※本プログラムは本学在学生向けの正課授業に参加する形式となっており、在学生とともに受講していただきます。

数理データサイエンスプログラム

本プログラムでは、数理・データサイエンスと初歩的なプログラミング及び人工知能の基礎を学び、修得した知識をビジネスや日常生活に活かすことを目指します。



■ 提供科目と受講日

● **AIデータサイエンス基礎**
オンデマンド配信

● **応用プログラミング**

対面講義 毎週月曜日 1時限目 (9:00～10:30)

● **人工知能基礎**

対面講義 毎週火曜日 3時限目 (13:00～14:30)

受講料 46,500円 ▶ 特別料金

在籍期間 2025年9月～2026年2月 (6か月間)
※後期授業開始日 2025年9月24日 (水)

授業回数 各科目毎週1回90分間、計15回

募集人員 3名

提供科目と受講日

AIデータサイエンス基礎	講義形式	講師	職位
	オンデマンド配信	白坂 正太	教養力育成センター 准教授
	概要	講義内容	授業外学習
	本科目では、データサイエンスやAIの基礎的な概念やデータの収集・整理・分析方法を学び、情報に基づく意思決定の重要性を理解することを目的としています。データ活用がもたらす社会的な影響について倫理的な視点から考察することを通して、人間 中心の適切な判断を行うための必要なリテラシーを身につけます。本講義はオンデマンド型で行い、毎回のレポートでその学習成果を確認していきます。	1. ガイダンス 2. 社会で起きている変化 3. 社会で活用されているデータ 4. データ・AIの活用領域 5. データ・AI利活用のための技術 (1) 6. データ・AI利活用のための技術 (2) 7. データ・AI利活用の現場 8. データ・AI利活用の最新動向 9. データを読む (1) 10. データを読む (2) 11. データを説明する 12. データを扱う 13. データ・AIを扱う上での留意事項 14. データを守る上での留意事項 15. まとめ	授業で行ったテーマでのレポートを課します。授業の全体の復習と合わせて、毎回240分程度の授業外学習を確保してください。
応用プログラミング	講義形式	講師	職位
	対面講義：月曜日1時限目	松木 裕二	工学部 電子情報工学科 教授
	概要	講義内容	授業外学習
	本講義では、Pythonについて学びます。Pythonはデータの可視化を含む高機能なモジュールを簡単に利用できる利点から、データ分析や機械学習の分野など近年数多くの分野で利用されています。講義の前半では、まずLinux OSの基礎知識として、基本コマンド、ユーザー管理、ファイル操作、アクセス権の変更などについて学びます。後半では、Linux OS上でPython言語の基礎的な文法、NumPyを用いた計算処理、matplotlibを用いたデータの可視化について学びます。	1. Linuxについて1 2. Linuxについて2 3. Linuxについて3 4. Linuxについて4 5. Linuxについて5 6. 理解度 (達成度) の確認および解説 7. Pythonの基礎1 8. Pythonの基礎2 9. Pythonの基礎3 10. Matplotlibを用いたデータの可視化 11. NumPyを用いた数値演算処理 12. Tkinterを用いたGUIアプリの開発 13. 総合的なアプリの作成演習1 14. 総合的なアプリの作成演習2 15. 理解度 (達成度) の確認および解説	myFITに公開されている授業資料を参考に事前学習および復習をおこなってください。その際、必ず自分のコンピュータ上で動作させながら処理内容を確認するようにしてください。また、課題が与えられたときは、必ず完成させて提出してください。学習時間の目安は180分です。
人工知能基礎	講義形式	講師	職位
	対面講義：火曜日3時限目	山澤 一誠	情報工学部 情報工学科 教授
	概要	講義内容	授業外学習
	最近では多くの分野で人工知能が利用されるようになってきています。人工知能は知能の原理を解明し、コンピュータ上に知能を実現することを目的とした学問分野です。また、より親しみやすいコンピュータやインターネットを実現したいという実社会からのニーズにも応えようと研究が進められています。この講義では、人工知能の幅広い基礎知識を身につけます。	1. 講義の進め方、人工知能の概要と歴史 2. 問題の状態空間表現と探索 3. 知能表現システム1 4. 知能表現システム2 5. 知能表現システム3 6. Prolog, ファジィ論理, 単調論理, 非単調論理, サークスクリプション, 様相論理 7. 多様な知識メディアの知的処理 8. 推論 9. 機械学習 10. ニューラルネットワーク 11. 進化的計算 12. 知的エージェント 13. 人工知能と社会 14. 試験 15. 試験の解説	毎回、予習2時間と復習2時間の時間を確保してください。

myFIT (Web型学習支援システム)：授業資料ダウンロード、課題・レポート提出、履修登録など、講義で活用します。

環境理工学及び環境社会学プログラム

本プログラムでは、環境に関する理工学及び経済・社会学の基礎を学び、身近な環境問題を多面的に考察する環境コンシャスを身につけることを目指します。



■ 提供科目と受講日

●環境科学総論

対面講義 毎週火曜日 4時限目 (14:40～16:10)

●環境経済学

対面講義 毎週水曜日 3時限目 (13:00～14:30)

●環境社会学

対面講義 毎週木曜日 3時限目 (13:00～14:30)

受講料 39,500円 ▶ 特別料金

在籍期間 2025年9月～2026年2月(6か月間)
※後期授業開始日 2025年9月24日(水)

授業回数 各科目毎週1回90分間、計15回

募集人員 3名

提供科目と受講日

環境科学総論	講義形式	講師	職位
	対面講義：火曜日4時限目	久保 裕也	工学部 生命環境化学科 准教授
	概要	講義内容	
	どのような分野に進もうと環境問題は避けては通れない時代になりました。「風が吹けば桶屋が儲かる」世の中で起こる全てのことが環境と関係するため、学問領域に明確な境界はなく、学ぶことに限りはありません。この講義では環境汚染、資源、エネルギー、廃棄物、生態系、リサイクル、浄化、社会システム、国際関係、法律など多様な視点から環境問題を俯瞰し、あらゆることを環境と結び付けて考える基盤をつくります。	1.概論：環境とは何か？ 2.エネルギー 1 3.エネルギー 2 4.エネルギー 3 5.農業 6.食料問題 7.環境汚染 8.廃棄物 9.リサイクル 10.3R 11.地下資源 12.地球温暖化 13.LCA 14.SDGs 15.まとめ	
環境経済学	概要	授業外学習	
	今回の講義の授業内容のトピックスについて、事前調査を行ってください(60分)。講義を復習し、理解できなかった部分、深めたいことを調査してください(120分)。		
	講義形式	講師	職位
	対面講義：水曜日3時限目	鄭 雨宗	社会環境学部 社会環境学科 教授
環境社会学	概要	講義内容	
	受講生は、地球環境問題に対する政治経済的アプローチを通じて、国際議論の背景を探るとともに、地球温暖化問題と国際競争力との関係を明確に理解することができます。具体的には地球温暖化問題の主たるプレイヤーであるEUと米国、そして途上国の COP（締約国会議）での利害関係とともに国境税調整によるグローバルな経済・環境影響を定量分析を利用して理解することができます。	1.地球温暖化問題の政治経済的アプローチ 2.公共財の特徴と外部性 3.環境政策手段の基礎理論 4.IPCC評価報告書 5.地球温暖化議論と評価 6.中間レポート（1） 7.中間レポート（2） 8.EUの国債競争力と地域連携の特徴 9.中国の経済発展と環境問題 10.戦略的貿易措置と環境 11.国境税調整の国際環境影響効果 12.排出権取引制度の実態とEUETSの課題 13.CDMスキームの理念と運用上の多様性 14.ポスト京都と新たなCDMスキームの構築 15.授業内容の理解度テストおよび解説まとめ	
	概要	授業外学習	
	毎回の授業内容の復習と次回内容をmyFITからダウンロードし予習を行ってください。4時間分の学習が求められます。		
環境社会学	講義形式	講師	職位
	対面講義：木曜日3時限目	陳 艶艶	社会環境学部 社会環境学科 准教授
	概要	講義内容	
	本講義では、環境社会学の代表的な理論枠組みを勉強した上で、今日起きている多種多様な環境問題を取り上げ、人々の環境に対する意識と行動を中心に、環境問題の形成メカニズムと現代社会との関連を探索します。	1.イントロダクション 2.環境問題の歴史と環境社会学の成り立ち 3.環境問題の社会学（1） 4.環境問題の社会学（2） 5.環境共存の社会学 6.環境運動の社会学 7.環境とSDGs、中間テスト 8.環境意識の概念と特徴 9.環境意識の研究事例 10.環境意識と環境配慮行動 11.環境配慮行動の研究事例 12.環境意識の計量分析（1） 13.環境意識の計量分析（2） 14.復習及び課題発表 15.まとめと全体総括	
環境社会学	概要	授業外学習	
	240分：ほぼ毎回課題を課します。授業前には、myFITに掲示された記述問題について情報を収集し、自らの考えをまとめておいてください。授業後は、配布資料および自身のノートを活用しながら復習を行い、課題を完成させてください。		

受講までのスケジュール

1 出願手続き

■ 出願書類

- (1) 本学所定の「科目等履修生入学願書（履修証明プログラム）」
- (2) 本学所定様式の履歴書（写真貼付）

■ 出願方法

社会連携センター（092-606-7089）へ電話連絡の上、①・②いずれかの方法でご提出ください。

- ① 郵送または持参 ② メールで送付

■ 出願期間

2025年8月18日（月）～8月27日（水）※書類必着

■ その他

出願資格等の詳細は右のQRコード
またはURLより募集要項をご確認ください。

<https://www.ccc.fit.ac.jp/news/archives/83>



2 選考結果の通知を確認する

資格等選考（入学願書・履歴書等の書類審査）により、入学可否を判断します。
選考結果は出願期間終了後に担当事務局よりご連絡します。

3 履修科目の登録

入学許可者に別途連絡します。

4 諸費用を納入する

指定された期間内（入学許可以降で講義開始日から1週間以内）に、銀行振込または社会連携センター窓口（現金のみ）にてお支払いください。
手続きの延期は認められません。また、分納制度はございません。

■ 入学金

50,000円 ▶ 初年度につき免除

■ 授業料

【数理データサイエンスプログラム】46,500円 ▶ 23,250円 初年度につき特別料金で提供
【環境理工学及び環境社会学プログラム】39,500円 ▶ 19,750円 初年度につき特別料金で提供

■ その他

授業で利用する教材等で別途料金の負担が必要になることがあります。

5 各授業を受講する

各科目は毎週1回、計15回開講。1回当たり90分。（一部オンライン開講の科目あり）

在籍期間 2025年9月～2026年2月までの6ヶ月間（後期授業開始日 2025年9月24日（水））

※修了要件を充足した方には、ご本人の申請により履修証明書を発行します。（申請方法は別途案内）

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

福岡工業大学 学術支援機構
社会連携センター（本部棟1階）

〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1
TEL：092-606-7089（営業日：平日9:00～17:00）
E-MAIL：ccc-office@fit.ac.jp
WEBサイト：https://www.ccc.fit.ac.jp/

